

抗原検査キットの使用法

ウィルスの量が少ない場合や、鼻腔から採取した検体の粘度が高い場合、また検査の手順や手技が正しくない場合等には、偽陽性(実際は感染していないが陽性となる)や、偽陰性(実際は感染しているが陰性となる)が発生することがあるため、使用法をよく読んでから検査してください。

〔キットの保存方法・注意事項〕

検査キット(写真④)は使用するまで開封しない。

キットは直射日光や火気の近くを避け、常温(30℃以下)で保存する。

幼児の手の届かない場所に保存する。

キットやチューブ内の溶液は、皮膚に付いたり目や口に入ったりしないように注意する。

1 検査用品の準備

綿棒…①

チューブ…②

滴下チップ(キャップ)…③

検査キット(エスプライン SARS-CoV-2)…④

※①～④は配布したセットに含まれる。

ゴミ袋、手袋(可能な限り)

時間を計れるもの



2 検査

◇検体の採取

綿棒(①)を袋から取り出す。→綿棒の中間近くを持ち、鼻孔入口から 2cm ほど優しく挿入する。→粘膜部分を拭うように 5 回程度ゆっくり回転。→5 秒程度待ち綿棒の先の綿球が湿ったらそっと引き抜く。

◇検体の抽出

チューブ(②)のビニール蓋を中身の液体がこぼれないように注意して剥がす。→綿棒の綿球を中の液に浸す。→チューブごと潰して綿球をつまみながら綿棒を 10 回程度回転。→綿球から液を絞りながら綿棒は取り出して処分。→チューブにキャップ(③)をはめ込む。→チューブを横にして、約 5 分静置。

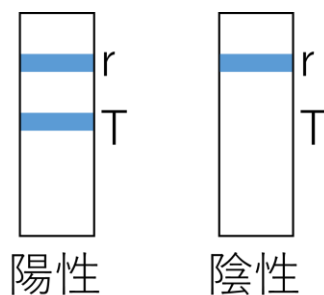
◇2 滴垂らす

検査キット(④)をアルミ袋から取り出し、水平で風が直接当たらない場所に置く。→キャップをつけたチューブを逆さにして、キットに触れないように 1 センチ程度離れたところから検査キット紫色の検体滴下部に 2 滴垂らす。→すぐにオレンジ色のボタンを凹んで戻らなくなるまで押し込み、30 分間待つ。



3 判定

- “陽性”の場合 : rとTの両方に青いラインが出現。速やかに医療機関を受診する。
- “陰性”の場合 : rだけに青いラインが出現。
- “再検査”の場合 : r に青いラインが出現しない場合や反応前のピンク色のラインのままの場合、反応が正常に行われなかった可能性があるため、キットがもう一つある場合は検査方法を再確認した上で再検査。



※参考資料※

検体採取や検査の方法は、メーカーのホームページに動画付きで掲載されているので、この説明書と合わせて確認の上での実施を推奨します。

【富士レビオ(株)】

<https://www.fujirebio.co.jp/products/espline/sars-cov-2/index.html>

～成人式当日の受付で確認します。～

- ①成人式の通知と同封した感染予防チェックシートを提出してください。
- ②抗原検査キットの陰性結果を証明する写真、または現物を提示してください。

⚠忘れた場合は入場できませんので必ずご持参ください。⚠